

	内容	回答
1	授業参観・運動会などの行事で駐車場がなくて困っているが、小中一貫になったときには解消されるのですか。	土地の購入等も検討して、十分なスペースが確保できるように考えていきたいと思います。
2	青柳小と合併した場合、学童についてはどうなるのですか。	渡瀬の学童は神泉小の児童も通っている背景があるため、就学援助制度しばらく継続することです。
3	スクールバスについては、町営ですか。民間委託ですか。	交通手段については、既存のバス等も含めてこのあと検討していきたいと思います。
4	スクールバス等になった場合、熱中症対策や、本数等についてはどうするのですか。	発着時刻や便数についてですが、先進自治体を参考に子どもたちが不安にならないように、安全面を第一優先としながら、今後詰めていきたいと考えております。
5	どこまで何が決まっているのかということを書面でいただくことはできるのでしょうか。	検討中のこともありますが、何が必要か、何の調整が必要かなどの洗い出しを行っております。今後様々なことが決まり次第、お伝えしていきたいと考えております。統合についてのお便り等の発行も考えています。それぞれのジャンルについてできるだけ整理し、見える化を図って行きたいと思います。
6	①町内の学校が一つになったときに、学校の先生方はどうなるのですか。先生方の働く場所はなくなってしまわないのですか。担任でない先生方をサブにつけてもらうことは可能ですか。 ②学童が将来ひとつになったときに、どのように環境が整備されるのですか。学童の先生が溢れてしまわないのですか。	①教員については、子供の数によってクラスが決まり、クラス数から教員数が自動的に決まります。先生方の働く場所がなくなってしまうことはございません。 ②学童については、神川町にある4箇所は10年後ひとつになったときの状況にもよりますが、そのときの状況をしっかり考えながら町として対応していきたいと考えております。文部科学省からも出ていますが、学校の空き教室を使って子供を預かるなどの方法もあり、様々な方法を視野に入れて考える時期がきているのかなと思います。いずれにしても、親が迎えに来るまでの間、子どもたちが安心して過ごせるような環境づくりを検討していくことが大切だと考えています。
7	神川の学童は民設民営でしょうか。	はい。民設民営です。
8	少子の中で10年後の合併を考えたときに、20年後、30年後に、またその子どもたちが生まれたときに、再度複式となったときには、どこの市町村と合併していくのですか。	本庄市、美里町、上里町などとも、話し合いを行い、今後の町の在り方については考えております。

9	<p>タブレットについて、その使い方もまだまだままならない中、義務教育の教材として渡された中で、保険料は実費です。渡瀬小学校が廃校となった場合、その渡瀬小学校の浮いた経費は、教育費として他の学校に回してもらえるのですか。</p>	<p>壊れたタブレット端末の修理は、その原因によって保護者か教育委員会のどちらかが行ってきましたが、件数が多く限られた予算の中で負担することが難しくなりましたので、保護者の方をお願いして保険料は負担していただいております。全国的にも同様の事象があり、国に陳情している状況です。タブレットに関しても入れ替えの時期が来ており、財政的にも厳しい状況です。今はっきりどうするとは言えないが、子どもたちのための取り組みを進めていきたいと考えております。渡瀬小学校の跡地利用についてですが、このあと統合について、住民の方々のご理解を頂いた上で進め、その後検討していきたいと考えております。工業団地の組織等にも投げかけをしたり、多方面にわたって考えていきたいと思っております。</p>
10	<p>各小学校から中学校に入学したときに、いじめが生まれてしまうことがあります。渡瀬小の児童が青柳小に行ったときに、体育着が違うからなど、少数派がいじめられてしまうかが心配です。子どもたちの声を聞き、進めて行ってほしいと思います。</p>	<p>統合に向けての準備委員会を立ち上げて、子供の声に耳を傾けながら、進めていきたいと思っております。先程は体育着を例としてあげましたが、それに限らず、子どもたちの心配事をなくせるよう努めていきたいと思っております。</p>
11	<p>中1ギャップとは何ですか。</p>	<p>小学校は全教科を教えるのに対し、中学校では教科担任制となります。授業のスタイルも変わったり、授業内容も難しくなったりして、そうした環境の変化に順応できない状況の中1ギャップといえます。不登校なども、このタイミングで一気に増えるという状況があります。小中一貫校とすると、小中の教員がお互いに乗り入れて授業をしたりして、連携を取りやすく、その解消につながります。</p>
12	<p>親として一番気がかりとなっているスクールバスについてですが、どのように運営されていくのでしょうか。低学年や高学年などで下校時刻なども違うので、どこかにいくつか起点をつくっていただくことなども可能なのでしょうか。具体的なところをなるべく早めにお知らせしていただくと助かります。</p>	<p>保護者の方からの不安や意見に対応できるような形で、準備委員会で検討しながら進めていきたいと思っております。</p>
13	<p>下校ボランティアもたいへん減ってきていますので、それありきで小学校から子供を下校させると厳しいと思います。</p>	<p>どの学校も下校ボランティアについて、厳しい状況にあることは承知しております。その上で、安全に登下校できる環境を整えていきたいと思っております。</p>

14	<p>①子どもたちの意見は聞いているのでしょうか。また、ここに反映されてくるのでしょうか。</p> <p>②複式対応支援員について、郡市をまたいで採用することは可能ですか。</p>	<p>①子どもたちについては、直接アンケートは行っていませんが、新しい学校で勉強していくことはどんなことなのかということをご丁寧に説明していくことが必要であると考えております。</p> <p>②他の市町村も同じ状態にあり、教員の未配置の状況が起きております。例えば、育休職員の代替職員もいないような状況です。神川町としても、中学生の学力アップ教室で、学習支援を行う大学生に声をかけて教員採用試験受験者を増やす努力はしております。</p>
15	<p>①特色のある学校教育とは何でしょうか。</p> <p>②町の人口増加としての取り組みの中で行っていることはありますか。</p>	<p>①小中一貫校については、9年間の教育過程を4年・3年・2年に分けて編成したり、不登校対策を小中でより強く連携して行ったり、9年間を通じた英語教育を行っていくことなど様々な取組が挙げられます。現在もその第一歩として、自分で調べる探究学習への取り組みや、小中連携の取り組みなどをスタートしております。</p> <p>②人口の増加については、全国的な課題であります。神川町についても例外ではなく、自然増はほとんど望めず、結婚をしない若者も増えていきます。学費や教育費などの負担が経済的に厳しいというのもその要因の一つです。神川町では、子育て支援を充実させています。18歳以下の医療費の無償化はもちろん、3歳以上の給食費が無償というのは、県内でも神川町と滑川町だけです。そうした形で、神川町は子育てについて、県内トップクラスの力をいれております。今後もそれを継続し、魅力あるまちづくりを進めていきます。</p>
16	<p>①統合について理解できましたが、今ある学校の状態、最後まで最高の教育を支えてほしいと思います。</p> <p>②青柳小や丹荘小の児童が神泉小学校に来ることができるようにしてはいかがでしょうか。神泉小を学力にこだわることなく、不登校などの児童ものびのびと過ごせるような環境の学校にするというのはいかがでしょうか。また、私達が信頼して選んだ議員の声にもしっかり声を傾けていただきたいと思います。</p>	<p>①今いる先生方はもちろん全力で取り組んでおります。少人数のよさを活かし、子どもの声に耳を傾けたり、人数が少ない分、一人ひとりの状態をしっかりと見取ることができます。縦割りの活動等についても意欲的に取り組んでおります。</p> <p>②学校区を外すことについても、検討しました。しかし、外すことにより、いい面もあるかと思いますが、転出入が生じることにより、逆にクラスが消滅することも考えられます。また、いじめ等による区域外就学等については、個別に対応していきたいと考えています。</p>
要望	<p>現在、公的なフリースクール等も増えてきていますので、自然環境などもそろったこの土地で、そうした計画をしていくこともぜひ検討していただければと思います。</p>	